

民宿开始营业的一年 ——我与“冲美之宿”的故事

民宿を始めて1年

——私と「沖美の宿」の物語

文章：李雲さん



2014年、我来到日本，作为技能实习生开始工作。2017年，我与一位日本籍的丈夫结婚。后来有了孩子，一边抚养孩子一边寻找可以兼顾家庭的工作。

我一直有一个梦想——希望能生活在海边。正因为这个梦想，我萌生了开一家民宿的想法。为了找到合适的房子，我开始到处寻找。最终，在吴市旁边的江田岛市冲美地区，我被那里的海景和宁静的氛围深深吸引，一见钟情。从室内装修到营业许可的申请，准备过程比想象中要困难得多。但在丈夫和专业人士的帮助下，终于在一年前顺利开业了。

2014年、私は技能実習生として日本に来て働き始めました。2017年、日本人の夫と結婚しました。その後子どもが生まれ、子育てをしながらできる仕事を探していました。

私にはずっと夢がありました—海のそばで暮らす夢です。その夢がきっかけで民宿<小さい宿>を開きたいと思うようになりました。理想の物件<場所や家>を探すためにあちこちを見て回りました。そして最終的に、呉市の隣にある江田島市沖美地区で、美しい海の景色と静かな雰囲気心に奪われ、一目惚れしました。家の中の工事から営業許可の申請まで、準備は想像以上に大変でした。でも、夫や専門家に助けてもらい、1年前に無事に民宿を開くことができました。



开业第二个月，住宿的预订就开始不断增加，这完全出乎我的意料。不过，因为完全没有经验，只能在一次次的失误中不断学习。客人们也会提出宝贵的意见，比如“夜晚灯光太少，不方便烧烤”等等，让我不断改进。

到了假期，比想象中还要忙碌，几乎没有时间陪孩子。我甚至想过“要不要干脆放弃”。但丈夫帮我照顾孩子，世界的花的日语老师、还有民生委员、警察先生等许多可以咨询、帮助我的人，让我一步步挺了过来。现在我也在考虑雇用兼职人员来帮忙。

民宿を開いて 2ヶ月目には宿泊の予約が次々と入り始め、それはまったく予想していなかったことでした。とはいえ経験がまったくなかったのも、失敗をたくさんして少しずつ学んでいきました。お客様からも「夜は照明が少なくてバーベキューがしづらい」など、ありがたい意見をいただき、何度も宿のいろいろなことを良くなるように変えていきました。

連休になると、想像以上に忙しく、子どもと過ごす時間もほとんど取れませんでした。「もうやめてしまおうか」と思ったこともあります。でも、夫が子どもの世話をしてくれたり、「せかいの花 2018〜」(地域日本語教室)の日本語の先生、民生委員さん、警察の方など相談できて助けてくれたりする人がたくさんいて、少しずつ乗り越えることができました。今ではアルバイトを雇うことも考えています。



当有客人因为喜欢冲美的海而成为回头客时，我真的非常感动。和客人的沟通、办理各种保险手续等工作，也让我在日语方面进步很大。今后，我希望能让更多的客人来到冲美，爱上这里的自然与宁静。通过让地区更加活跃，也算是对这片土地的一种回报。

冲美の手を気に入って、何度も泊ってくださるお客様がいると本当に感動します。お客様とのやりとりやいろいろな保険の手続きなどを通して、私の日本語もとても上手になりました。これからはもっと多くのお客様に沖美を訪れてもらい、この自然と静けさを好きになってもらいたいです。地域を元気にすることで、この土地への恩返しにもなっていると思っています。

我想对像我一样有梦想的外国人说：

当你想做什么的时候，不要害怕，要勇敢地去和政府部门沟通。他们一定会亲切地帮助你。

私と同じように夢を持っている

外国人の方へ伝えたいこと：

何かをやりたいと思ったら、怖がらずに、勇気を出して市役所などで相談してみてください。きっと親切に助けてくれますよ。

